



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月7日

上場会社名 株式会社 星医療酸器 上場取引所 東  
コード番号 7634 URL http://www.hosi.co.jp  
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)星 幸男  
問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)後藤 勇治 (TEL)03(3899)2101  
四半期報告書提出予定日 2023年8月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,338	5.8	394	20.0	408	18.8	276	18.7
2023年3月期第1四半期	3,156	8.6	328	56.6	343	59.6	232	63.9

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 456百万円(128.4%) 2023年3月期第1四半期 199百万円(24.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	88.60	—
2023年3月期第1四半期	74.75	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	21,360	15,957	73.6
2023年3月期	21,247	15,591	72.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 15,715百万円 2023年3月期 15,366百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	35.00	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期(予想)第2四半期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 5円00銭

2024年3月期(予想)期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 5円00銭

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	6,700	3.2	830	3.0	850	2.7	580	3.6	186.43
通期	14,300	3.8	1,840	3.5	1,880	3.4	1,320	5.3	424.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期1Q	3,420,000株	2023年3月期	3,420,000株
2024年3月期1Q	304,207株	2023年3月期	304,207株
2024年3月期1Q	3,115,793株	2023年3月期1Q	3,110,976株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進みつつある中、緩やかな持ち直しが続いています。その一方で、世界的なエネルギー・食料価格の高騰や欧米各国の金融引締め等による世界的な景気後退懸念などわが国経済を取り巻く環境には厳しさが増しております。

このような環境のもと、当社グループは取扱商品・サービスの安定供給とお取引先様と従業員の安全確保を最優先に事業を継続し、医療・介護・福祉分野において企業としての社会的責任を果たしてまいりました。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は3,338百万円（前期比5.8%増）、営業利益は394百万円（前期比20.0%増）、経常利益は408百万円（前期比18.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は276百万円（前期比18.7%増）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

#### ①医療用ガス関連事業

当部門は、新型コロナウイルス感染症（以下COVID-19）の世界規模での発生に伴い影響を受けておりましたが、外来・入院・手術・検査等が回復傾向にあるため、安定配送を目的とした人的資源の拡充や新規取引先拡販にも努めたことにより医療用酸素・医療用二酸化炭素の出荷量は堅調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は905百万円（前期比5.6%増）、セグメント利益は116百万円（前期比62.5%増）となりました。

#### ②在宅医療関連事業

当部門は、国の施策である在宅医療への推進を受け、患者様と医療機関のニーズにお応えすると共に、きめの細かい営業活動を継続いたしました。またコロナ禍では感染防止に努めつつ出来る限りの対応を行ったことにより「HOT（在宅酸素療法）」、「CPAP（持続陽圧呼吸療法）」共に好調に推移いたしました。一方、利益面では世界的な原材料価格の上昇に加え、エネルギーや輸送費の高騰が続いており、自助努力による合理化に努めてまいりました。

これらの結果、売上高は1,532百万円（前期比6.8%増）、セグメント利益は183百万円（前期比10.2%増）となりました。

#### ③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、医療機関に対し医療用ガス設備並びに消火設備の配管工事及び保守点検業務を行っております。保守点検及びそれに伴う修繕業務は安定した売上を確保しております。設備工事は補助金を活用した新規の工事受注に努めており、合わせて大型物件も完工となりました。

これらの結果、売上高は259百万円（前期比18.7%増）、セグメント利益は46百万円（前期比6.8%増）となりました。

#### ④介護福祉関連事業

当部門は、介護福祉関連機器のレンタル及び販売部門において、コロナ禍ではありましたが地域包括支援センターや居宅介護支援事業者への継続的な営業活動を図ることによりレンタル売上が順調に推移いたしました。

また訪問看護事業所は、都内3拠点を事業基盤として地域へのPR活動強化による認知度アップを図り、業績は順調に推移いたしました。

これらの結果、売上高は290百万円（前期比30.6%増）、セグメント利益は10百万円（前期セグメント損失5百万円）となりました。

#### ⑤施設介護関連事業

当部門は、有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷（東京都杉並区）」におきましては、24時間看護師在駐や地元医療機関との連携の更なる構築を図り、高付加価値サービスの提供と、人材育成の体制を強化いたしました。また、入居者様の多様性を把握したうえで、COVID-19の感染予防とまん延防止を第一とした施策を徹底することにより、入居者様やご家族様への「安心」・「安全」をお届けし、入居率の向上に努めてまいりました。

通所介護施設「あしつよ・文京」（東京都文京区）、「あしつよ巣鴨」（東京都豊島区）、「あしつよ王子」（東京都北区）におきましても、コロナ感染防止に努めつつ地元密着のサービスの提供と顧客サービスの多様化に対応することにより稼働率アップに努めました。

これらの結果、売上高は86百万円（前期比4.0%減）、セグメント利益は3百万円（前期比68.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は21,360百万円(前連結会計年度末比113百万円増)となりました。これは主に、現金及び預金が270百万円、投資有価証券が275百万円増加し、受取手形、売掛金及び契約資産が402百万円減少したこと等によるものであります。

負債合計は5,402百万円(前連結会計年度末比253百万円減)となりました。これは主に、賞与引当金が79百万円増加し、支払手形及び買掛金が146百万円、未払法人税等が170百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は15,957百万円(前連結会計年度末比366百万円増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が176百万円増加し、その他有価証券評価差額金が176百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、2023年5月12日発表の業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,031,480	9,301,851
受取手形、売掛金及び契約資産	2,732,102	2,329,882
棚卸資産	223,185	344,124
その他	93,905	97,975
貸倒引当金	△13,781	△7,135
流動資産合計	12,066,893	12,066,699
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,344,444	1,479,953
土地	3,462,663	3,462,663
その他（純額）	1,456,268	1,271,348
有形固定資産合計	6,263,377	6,213,966
無形固定資産		
投資その他の資産	228,762	226,010
投資有価証券	1,466,139	1,741,141
その他	1,222,077	1,112,425
貸倒引当金	△67	△46
投資その他の資産合計	2,688,148	2,853,520
固定資産合計	9,180,288	9,293,497
資産合計	21,247,181	21,360,196

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,559,641	2,413,572
未払法人税等	311,887	141,007
賞与引当金	178,200	257,600
その他	1,329,573	1,361,382
流動負債合計	4,379,302	4,173,562
固定負債		
役員退職慰労引当金	846,000	856,050
長期預り保証金	5,145	5,145
その他	425,271	367,821
固定負債合計	1,276,416	1,229,016
負債合計	5,655,718	5,402,579
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	559,412	559,422
利益剰余金	14,899,006	15,075,797
自己株式	△859,505	△859,505
株主資本合計	15,035,094	15,211,894
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	308,173	484,777
退職給付に係る調整累計額	22,824	18,595
その他の包括利益累計額合計	330,997	503,372
非支配株主持分	225,370	242,350
純資産合計	15,591,462	15,957,617
負債純資産合計	21,247,181	21,360,196

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
売上高	3,156,473	3,338,729
売上原価	1,578,292	1,627,616
売上総利益	1,578,180	1,711,113
販売費及び一般管理費	1,249,520	1,316,577
営業利益	328,660	394,536
営業外収益		
受取利息	482	2,198
受取配当金	9,099	6,006
受取家賃	2,712	2,962
仕入割引	1,444	1,247
保険解約返戻金	5,471	—
その他	2,145	5,068
営業外収益合計	21,355	17,483
営業外費用		
支払利息	1,742	1,409
その他	4,368	2,219
営業外費用合計	6,111	3,628
経常利益	343,904	408,390
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	343,904	408,390
法人税等	110,079	133,356
四半期純利益	233,825	275,033
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,274	△1,030
親会社株主に帰属する四半期純利益	232,550	276,064



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	233,825	275,033
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△28,509	185,416
退職給付に係る調整額	△5,654	△4,341
その他の包括利益合計	△34,164	181,074
四半期包括利益	199,660	456,108
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	199,635	448,439
非支配株主に係る四半期包括利益	25	7,669

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であった株式会社虎彰は重要性が増したため、連結の範囲に含めております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	857,502	1,434,680	218,760	222,043	89,879	2,822,867	333,606	3,156,473
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	19,855	—	—	19,855	—	19,855
計	857,502	1,434,680	238,616	222,043	89,879	2,842,722	333,606	3,176,328
セグメント利益 又は損失(△)	71,698	166,492	43,181	△5,060	12,562	288,874	39,785	328,660

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	288,874
「その他」の区分の利益	39,785
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	328,660

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への 売上高	905,808	1,532,176	259,677	290,074	86,292	3,074,028	264,701	3,338,729
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	19,097	—	—	19,097	—	19,097
計	905,808	1,532,176	278,775	290,074	86,292	3,093,126	264,701	3,357,827
セグメント利益	116,536	183,540	46,108	10,219	3,903	360,308	34,227	394,536

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	360,308
「その他」の区分の利益	34,227
セグメント間取引の消去	—
四半期連結損益計算書の営業利益	394,536

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。